

救護第2班 3月11日～3月19日 管理要員・須本 大二郎



救援物資を積んで発災当日の午前0時にディザスターとウイング車、クレーン車、ドクターカーの4台で被災地へ向かいました。各車2人が交代で40時間かけて運転しました。頻繁に大型車を運転しているわけではないので緊張の連続。首都高速が思ったより狭いと感じました。大きな資材が多く、先発した初動の第1班はそれを考えた場所取りをしてくれましたので、到着してすぐにディザスターの展開や大型テントの設営が可能でした。



中等症エリアへのベッドの補給や帰宅困難者、バス待ちの方へのテントの提供、またその中で暖房機や照明を設置するなどの活動を行いました。長距離を運転して、そのまま夜の7～8時まで作業しました。翌日からも朝7時に起きて夕食が夜7～8時で、その間ずっと活動を続けていました。最初の1週間くらいはそんな感じでした。

3月といっても石巻は冬なみの寒さで、15日にはあたり一面真っ白になる積雪。よそのテントが雪で倒壊しましたが、当院のテントは大丈夫でした。テントでは、換気しながら暖房を焚いていましたが、夜は冷え込みが厳しく、テントの中にツララが下がっていたこともありました。

私たちが疲れていましたが、石巻赤十字病院のスタッフは震災直後からずっと働いていらっしゃるのでもっと疲れていたと思います。18日に私たちが石巻赤十字病院のスタッフの方々に、温水シャワーを提供したときは一

番ありがたく思われたように感じました。